

令和2年第10回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和2年10月22日(木) 午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 水田 博和

【委員】 大野 みどり

【委員】 小塩 泰代

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【事務局】 教育部長 松原 眞一

文化スポーツ部長 上田 敦

教育総務課長 西野 正康

学校教育課長 大城 達也

同 主幹 兒島 靖

同 指導主事 南 英雄

学校給食課長 長江 泰典

文化財課長 村松 一秀

野外教育センター所長 木全 敦彦

同 主幹 西岡 靖成

文化・生涯学習課長 内藤 純子

スポーツ課長 中山 裕之

図書館長 田中 裕子

食育推進給食会企画経営課長 生倉 勉

教育総務課課長補佐 渡邊 直美

4 議題

(1) 令和3年度教職員定期人事異動方針について

(2) 令和2年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について

(3) 第4次春日井市子ども読書活動推進計画(中間案)について

(4) 春日井市教育委員会表彰について

5 報告事項

(1) 令和2年第5回市議会定例会について

6 議事概要

教育長	本日の傍聴者はありません。
教育長	春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、議事録署名人は、大野委員を指定。
教育長	<p>9月の定例委以降の近況について報告します。新型コロナウイルス感染症の小中学生および教職員の感染者はありませんでした。従って、臨時休業はありません。</p> <p>中学校の修学旅行は、本日帰校の学校を含め13校が予定通り実施しています。あと3校となりました。1泊2日と短縮した修学旅行ですが、精一杯楽しんでいる姿をホームページで見ることができています。</p> <p>小学校の修学旅行は、11月4日から20日まで10班編成で、京都・奈良方面に出かけます。バス・宿泊施設・食事場所・見学場所等、様々な場所での感染対策を十分に整え、各校で準備が進められています。無事の実施を願うばかりです。</p> <p>中学校の体育大会は、文化祭を学校祭として体育的活動と鑑賞活動などを、学年別で実施するなど、密を防ぐ工夫をして実施しています。小学校の運動会は、学年ごとや低中高学年に分かれ、体育的授業参観として実施しています。いずれも、事前に参観者の把握、当日名簿で確認するなど、感染予防対策の徹底を図っています。訪問した学校には、多くの保護者・関係者が声援に訪れていました。</p> <p>部活動については、12日より、感染症対策を行った上で通常の活動に戻り、土日祝の活動、対外試合を可としました。</p> <p>11月25日(水)に、愛日地方教育事務協議会研究委嘱校研究発表会が、藤山台小学校で開かれます。例年ですと学校を会場として、公開授業・講演会等を実施するところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる研究発表会を実施します。小学校初任者研修を兼ねるため、関係者は自校でオンラインでの研修を実施するという、今までにはなかった形での実施となります。近い将来には、この形がスタンダードになるのではないかと思います。</p>

す。

教育長 「議題4 春日井市教育委員会表彰について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きを適用して非公開とすることを提案。

教育長 採決の結果、全員一致で「提案のとおり」決定。

教育長 1 議題

(1) 令和3年度教職員定期人事異動方針について

教育長 採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。

(2) 令和2年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について

大野委員 33ページの表で、近年いじめ解消率が減少しているのはなぜか。

学校教育課長 34ページの課題・今後の方向性(5)に記載のとおり、その原因はわかっていないので調査・研究していきます。どうなったら解消かということについても、お互いに謝っておしまいでなく、その後も丁寧にフォローしていくことに解消の重点を置いています。

大野委員 59ページの表、野外教育センター等の利用者数について、少年自然の家は自然体験プログラムなどバラエティに富んだ講座等を開催し、たいへん良いことだと思う。その反面、利用者が減っているのは、施設が老朽化していることで魅力が低下しているのではないかと。施設のリニューアル等を検討してほしい。

野外教育センター長 公共施設マネジメントの一環として、順次施設の更新をしているところです。引き続き、安全性に配慮し、施設の魅力が向上するよう修繕に努めてまいります。

教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。
	(3) 第4次春日井市子ども読書活動推進計画（中間案）について
浅井委員	2ページの現行の第3次計画の目標は、高すぎたのではないか。
図書館長	前回の第2次計画の進捗状況から目標値を設定されたもので、高すぎるものではないと考えています。
竹田委員	5ページの図1について、小中学校の読書が好きな児童生徒の割合が、県より市のほうが高いのはなぜか。
図書館長	当市の小中学校では、朝読書を実施する等の読書推奨の影響と考えています。
竹田委員	平成22年度からの推移のなかで、平成27年度から令和2年度間で割合が低下している理由はなにか。インターネットやユーチューブ等が読書に代わったなどの原因が考えられるのだろうか。
図書館長	実際にそのようなことも考えられます。8ページの図4からもわかるように、家庭にICTの環境が整ったことにより、読書以外に興味が移っています。
竹田委員	インターネット等の影響が大きいという現実を逆手にとって、インターネットを利用した読書推進等を進めていくといいのではないか。
図書館長	読書について情報発信するなど、今後検討してまいります。
大野委員	7ページに小学生の「読みたい本がない」が14.4%とあるが、これは何を読んだらいいのかわからない、という意味か。読みたい本が学校図書館や市の図書館等に無いという意味なのか。また、学校図書館の本は十分にあるのか充足率を教えてください。

図書館長 8ページの図4に示すとおり、小学生は「読みたい本がない」とは別に「どんな本を読んだらいいかわからない」の回答もあるため、これについては読みたい本が身近に無いことを表していると考えます。

教育総務課長 充足率は、令和2年4月1日現在、小学校で平均99.8%、中学校で平均106.7%となっております。国から示されています学校図書館図書標準に基づき、各学校の規模に応じ定められた冊数になるよう整備しています。

小塩委員 19ページからの子ども読書活動推進のための施策について、もともと本が好きなお子をお引き上げていくのは良い。一方、本を読まない子に関心を持ってもらうようにするには、学校で本と接する時間をおとるのが必要だと思ふ。朝の読書などに力を入れてほしい。

大野委員 中学校では、業前の時間に朝読書を行うことが定着しているが、小学校は中学校に比べ、読書の習慣づけができていないと思ふ。
今後、学校で読書をさらに推進するためには、学校図書館で活動している図書ボランティアや、中学校では図書委員会が活動しているので、それらと市図書館が連携して進めていくのが望ましい。先生は多忙なので、市図書館から学校の図書ボランティアや図書委員会へ、読書推進のための情報を提供する等したらどうか。

図書館長 市図書館が学校等との連携を進める中で、学校図書館ボランティアや図書委員との連携について今後検討してまいります。

教育長 採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。

2 報告事項

(1) 令和2年第5回市議会定例会について

小塩委員 8ページの1人1台端末について、整備状況はどうか。また、今後どのように活用し、その効果を発信していくのか。

教育総務課長	9 学年中 3 学年は 10 月中旬に整備済です。他は 2 月中旬までにはすべて整備予定です。現在、既に 4 校が試行的に学校の授業で使用しております。
学校教育課主幹	端末の活用については、同じ端末画面を複数の子や先生で共有したり、グループ単位でホワイトボードの代わりに端末画面を利用したりするなど、まずは、話し合いの場面での活用を中心に、学校内での使い方を研究していきます。
小塩委員	学校や家庭で活用し、ICT 機器の良さを発信していくと良い。
	○参考資料について
大野委員	10 ページのスクールサイン投稿件数について、匿名での投稿と聞いているが、その場合の信憑性はあるのか。
学校教育課長	スクールサインの投稿は、学校を選択し、心配な生徒とその内容を記載する形になっています。投稿者が名乗ることはありませんが、投稿のあった心配な生徒については、何かしらの事があったと確認できているため、信憑性は高いと考えています。